

はじめの一步②

8月30日(金) ~ 31日(土)

IN 明石市立少年自然の家

	午前	午後	夜
1日目	施設まで移動	野外炊飯	キャンドルファイヤー
2日目	清掃・海遊び	施設を出発・解散	

一日目： 一日目は雨の予報が出ていた為、二日目の予定と入れ替えて活動を行いました。施設の最寄り駅に到着すると、タイミングよく雨が止み、雨合羽を鞆に片付けて施設まで歩きました。お弁当を食べる頃には、初めて会うメンバーとも話が弾み、昼食後は一緒に広場で遊びました。その後、施設の職員さんから施設の約束事や布団の敷き方を教わり、部屋に入りました。野外炊飯に必要な持ち物をリュックに詰め、夕食作りへ向かいました。今回のメニューは『カレーライス』です。グループ内でかまど係とカレー係に分かれて調理を始めました。かまど係は火の熱さに驚きながらも「次は薪入れたい！」と意欲的な姿が見られ、カレー係はピーラーと包丁を上手に使い、真剣な表情で沢山の具材を切り分けました。みんなの頑張りで予定時間よりも早く、そしてとても美味しいカレーライスが出来上がりました。カレーライスをペロリと平らげ、片付けを終えた後は、体育館にてキャンドルファイヤーを楽しみました。レクリエーションで盛り上がり疲れた表情が見られましたが、布団に入るまで自分の事は自分ですという目標をやり遂げておられました。



二日目： 起床時間の放送が流れると、待ち構えていたかのようにベッドから起き上がり、着替えが始まりました。朝のつどいでみんなが集まり、一日のプログラムを確認しました。朝食や清掃が早く終われば、その分だけ長く海遊びが出来る事を知ると、気合が入った様子でした。朝食は牛乳パックを利用して『ホットサンド』を作りました。大きな口を開けて頬張り、完食するとすぐに部屋の清掃に取り掛かっておられました。清掃が終わると、待ちに待った海遊びへ向かいました。昨日の雨の影響もあり、海の水は冷たく感じましたが、メンバーのみんなは「気持ちいい！」と言いながらスイスイ泳いでおられました。ライフジャケットの浮力を上手に使い浮かんだり、ジャンボタライに乗って進んだり、グループの垣根を越えて遊びに誘い合う姿が見られました。海遊びを思う存分楽しみ、施設に戻ると、お昼の時間でした。昼食の焼きそばを食べ、帰る支度を済ませて施設を後にしました。お迎えにいられても遊び続ける程、友達と仲良くなり、最後まで元気でした。

<キャンプ総括>

地域によって夏休みの終わる時期が様々という事もあり、少人数でのキャンプでしたが、人数の少なさを感じないくらい賑やかな二日間でした。やりたいことは目の前に沢山ありますが、やるタイミングやグループのみんなの事を考えると、グッと堪えなければならない事もありました。一泊二日というキャンプとしては短い期間ですが、メンバーにとっては長い長い二日間。楽しかった事も大変だった事も、全て自分が頑張った事として今後の力になることを願っています。そして、またキャンプに参加いただく時には、「前より出来た！」と一緒に喜べることを楽しみにしております。
(生本 ひろみ)